

回復期病棟入院患者のコンチネンスクアの充実による褥瘡発生率減少の効果判定のため、当院に入院された患者さんの年齢・疾患名・看護必要度・FIM (Functional Independence Measure) 点数など基本情報を用いた医学系研究に対するご協力のお願い

研究責任者	所属	看護部	職名	看護師
	氏名	高木 朋子		
	連絡先電話番号	047-453-9000		
実務責任者	所属	看護部	職名	看護師
	氏名	高木 朋子		

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院された患者さんの年齢・疾患名・看護必要度・FIM 点数などの基本情報を用いた下記の臨床研究を、当院倫理審査会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

### 1 対象となる方

西暦 2015 年 4 月 1 日より 2019 年 3 月 31 日までの間に、東京湾岸リハビリテーション病院 回復期リハビリテーション病棟にて入院し、リハビリテーションを受けた方

### 2 研究課題名

承認番号 227

研究課題名 コンチネンスクアの充実による褥瘡発生率の減少 ～排泄委員会の活動を通して～

### 3 研究実施機関

東京湾岸リハビリテーション病院 (研究責任者：高木朋子)

#### 4 本研究の意義、目的、方法

意義：本研究により、排泄委員会が活動してきたことによりコンチネンスケアの充実が図れたことが証明され、今後、同様の障害を持つ対象例へのケア介入の一助となることが予想される。また、褥瘡発生率の低下に繋がることも期待できる。

目的：排泄委員会の年間活動内容を振り返り、皮膚トラブルや褥瘡発生率の推移などの活動成果を明確にするとともに、当院のコンチネンスケアに関する課題について検討する。

方法：対象者を、褥瘡を有した患者と有さなかった患者に分ける。疾患、年齢、日常生活自立度などが、両群にどのような影響を与えるか相関係数等を用いて調査する。また、褥瘡を有していた患者に関しては、褥瘡有病期間とその特徴を分析する。

#### 5 協力をお願いする内容

診療に関する診療記録、年齢・疾患名・看護必要度・FIM点数などの基本情報の情報開示

#### 6 本研究の実施期間

西暦 2019年 6月 13日～2020年 6月 12日

#### 7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、患者番号のみです。その他の個人情報（氏名、住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの年齢・疾患名・看護必要度・FIM点数などの基本情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と、匿名化した年齢・疾患名・看護必要度・FIM点数などの基本情報を結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の研究機関等には一切公開いたしません。

#### 8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、試料・情報の利用や他の研究機関への提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

対応者氏名：高木朋子 所属：看護部 連絡先：t.takagi@wanreha.net

以上